

登録コード	A3593307	開講年度	2026				
授業科目	専攻演習					担当教員	筒井 歩
英文授業名	Selected Seminar						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				有機化学・分析化学・食品科学に関する専門的な知識や研究能力を修得している		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				有機化学・分析化学・食品科学に関する地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している		
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				有機化学・分析化学・食品科学に関する専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				有機化学・分析化学・食品科学に関する専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	ゼミ形式で各自の発表を行い、質疑応答・討議する。 各自の卒業研究の背景、目的、方法等を欧文の参考文献を活用して理解し、研究計画を立案するとともに、研究方法、結果をまとめ、各自の研究を遂行する。必要に応じて関連する論文を検索し、結果および考察をまとめる。研究の進捗状況、結果、研究計画等をまとめ、発表・質疑応答を通じて様々な研究方法を理解するとともに、課題を捉え、解決する筋道の立て方等について習得する。						
(5)授業計画	第1回：研究課題の設定 第2回：課題に関する学術情報検索（SciFinder, Web of Science） 第3回：専攻研究に関する情報検索 第4回：自身の課題設定 第5回：実験方法の習得（定量法） 第6回：実験方法の習得（抽出・分離法） 第7回：実験方法の習得（合成法） 第8回：機器分析法の習得（質量分析法） 第9回：機器分析法の習得（核磁気共鳴分光法） 第10回：研究結果に関する演習 第11回：発表資料の作成 第12回：研究発表（1） 第13回：研究発表（2） 第14回：研究発表（3） 第15回：研究の総括 履修後に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では学術論文を参考に、研究の目的、方法、結果、考察の組み立てを理解し、内容を読解できる習慣をつけてください。また、各回で配付される発表レジュメを事前に自主学習しておいてください。						
(7)成績評価の基準	成績評価の基準は、(i) 研究計画の立案が適切であり、(ii) 実験方法を理解できている、(iii) その得られた結果が正確かを把握できており、(iv) それらの結果に対して適切に考察できている、(v) その上で質疑応答に対しても明確に答えられ、説明できるレベルにあれば「卓越している」とし、(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」とします。						
(8)事前事後学習の内容	自身の研究内容に関連する論文等を検索し、事前に学習しておいてください。質疑応答で不明な点は必ず事後学習で補足してください。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	毎週行われる論文ゼミへの取組みを総合的に判断して評価します。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付けます。						
(12)履修上の注意	担当回の発表は、自身の研究を振り返り、よく理解した上で説明すること。また、他の受講者が発表する際には、積極的に意見を述べて討論すること。						
【教科書】	特に指定しない。						

【参考書】	各自の研究テーマに関連した資料を活用してください。
-------	---------------------------